



2021年10月1日(更新)

南山大学 在学生のみなさま

南山大学学校医 中野 有美

南山大学学校医 後藤 陽子

新型コロナウイルス感染防止対策・来学时留意点ならびに 濃厚接触者、もしくは感染と診断された場合等について（お願い）

ここ愛知県における緊急事態宣言が解除されました。合わせて、本学学生が多数居住する岐阜県・三重県の緊急事態宣言も解除されました。本学における授業や課外活動等の案内について、これまでどおり随時、PORTAならびに大学 Web ページにて確認するよう今一度、ご留意ください。

名古屋大学における大学拠点接種や居住地でのワクチン接種で既にワクチン接種済の方も多数おられるかと思いますが、非常に感染力の強いデルタ株をはじめとした変異株感染拡大の動向は未だ不透明であり、繰り返しになりますが、我々一人ひとりが感染予防・拡大防止について意識し、行動することが求められています。

以下、ひきつづき、ご留意いただきますようお願いいたします。

バランスのとれた食事、適度な運動、十分な睡眠などを通じて、抵抗力を高め、ご自身の体調管理に十分お気をつけいただき、かつ新型コロナウイルス感染予防・拡大防止に関する正しい知識・情報を把握・理解の上、コロナ禍においても充実した学生生活を送りましょう。

1. <新しい生活様式>

(1) 一人ひとりの基本的感染対策 「新型コロナウイルス感染防止の3つの基本」

① 身体的距離の確保

⇒人との間隔は、できるだけ空けましょう（1m・可能であれば2mを目安に）。

⇒教室では、座席の間隔を空けるように示しています。間隔を空けて着席しましょう。

対面になる場合は、席をずらして、真正面にならないように対話などしましょう。

② マスクの着用

⇒通学時から授業時、帰宅まで、マスクを着用しましょう。会話をする際は、可能な限り真正面向き合うことは避けましょう。また、外出時や屋内でも会話をするとき、人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを着用しましょう（坂道を登っている時など息苦しくなった場合、人が周りにはいない・十分な距離が取れていることをふまえ、外してもかまいません）。

③ 手洗いの実施

⇒手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗いましょう。石けんがない場合も流水で丁寧に洗いましょう（可能な限り、手指消毒薬使用の前に手洗いを）。家に帰ったらまず手や顔を洗いましょう。人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替え、シャワーを浴びましょう。また、結膜からも感染する可能性があるため、洗っていない手で目を触らない、こすらないようにしましょう。

[次ページへつづく]

知らないうちに、拡めちゃうから。





(2) 日常生活を営む上での基本的な生活様式

- ① 3密（密集、密接、密閉）・感染リスクが高まる5つの場面を避ける（⇒内閣官房 Web で要確認）
⇒3つの条件がそろった場所・上記5つの場面が「クラスター発生」のリスクが高い。
⇒飲食時は黙食。飲食をともなう会合や県外への移動、宿泊、各種イベントの自粛
- ② こまめな換気
⇒授業時も可能な限り常時、2ヵ所以上の窓を開けましょう（強風や雨天時は休憩時間のみ換気）。
⇒冷暖房を起動した状態での換気がやむをえませんので適宜、担当教員と相談の上、対応してください。
- ③ 咳エチケット
⇒マスクをしましょう。くしゃみや鼻水は必ずティッシュやハンカチで覆いましょう
⇒ただし、マスクをつけての激しい運動は避けましょう。
- ④ こまめに手洗い・手指消毒
- ⑤ 通学・下校時、混雑した公共交通機関や駅などにおいても、感染防止について心がけましょう（電車・バス車内での会話は控えめに。混んでいる時間帯は避ける等）。
- ⑥ 日々の検温など自分の健康記録に加え、可能な限り「行動記録（外出時刻・場所、用事・状況、接触者等）」をつけましょう（外出時刻・場所・接触者など）。
- ⑦ トイレ使用後は、便座の蓋をしてから流しましょう。

2. <体調チェックのポイント>

- ① 体温（平熱より高い、または 37.5℃以上）
[その日の体温だけでなく、発熱が確認されてから 10 日間を目途に通学や外出を控えましょう]
 - ② 倦怠感がある
 - ③ 咳がでる・息が苦しい
 - ④ 鼻・喉に違和感がある
 - ⑤ 嗅覚・味覚に異常がある
 - ⑥ 下痢気味である
- ※①～⑥に当てはまる場合は、通学や外出を控えましょう。

3. <濃厚接触者、もしくは感染と診断された場合><来学後の体調不良者対応>

濃厚接触者、もしくは感染と診断された場合は速やかに保健室へご連絡ください。

（学校保健安全法に基づき、保健所等から指示された期間、本学への通学を停止する措置を講じます）

また、来学後に体調不良や発熱の症状等が現れた場合は、来室前に 052-832-3437 保健センター・保健室までお電話ください。

『うつらない工夫 うつさない配慮 ～人間の尊厳のために～』

知らないうちに、拡めちゃうから。

